



2022年2月9日

〒163-8001 東京都新宿区西新宿 2-8-1
東京都政策企画局総務部秘書課気付

東京都知事 小池百合子 殿

象牙取引規制に関する有識者会議による具体的提言の必要性について

拝啓

象牙取引規制に関する有識者会議は、その設置以来、新型コロナウイルス蔓延のために会合が数度にわたって延期される事態にみまわれながらも、2年にわたって審議を続けてきました。そして、1月27日の第6回会合にて、そのまとめとなる最終報告書の骨子案を議論するに至りました。有識者会議による提言は東京都が今後前進していくためのものですが、本状では、そのとりまとめのあり方について懸念される点を述べさせていただきます。

私たちは、東京都による、象牙取引に関する独自の役割を果たさんとの取組みに敬意を表するものです。象牙を取引に供するための密猟からゾウを守るため、米国および中国が主導して国際的な政策転換が生じ、世界中の主要な象牙市場が閉鎖される状況の中で、日本における知事のリーダーシップは非常に重要です。ご承知のとおり、国際自然保護連合(IUCN)は、アフリカのゾウに対する絶滅の脅威のレベルを、アフリカサバンナゾウは「高い」(Vulnerable)から「非常に高い」(Endangered)に上げ、アフリカシンリンゾウはこれとは別種とされると同時に、脅威のレベルは「極度に高い」(Critically Endangered)とされました。この改定も、これらの種を保護するために地球規模での共同行動が必要であることの正当性を示すものです。

ところが、第6回会合で配布された報告書骨子案には、知事に対する有識者会議からの提言が含まれておりませんでした。これに対して、同会合に出席した座長を除く5名の委員のうち3名からなる多数意見は、有識者会議が、条例による象牙取引規制を検討することおよびその他の対策を含んだ知事に対する具体的な提言を報告書に含めなければならないと指摘しました。ところが、日本の象牙取引が大きな問題ではないとしてこれに異議を唱える少数意見が出されるや、会議事務局の意向を踏まえた有識者会議座長は、驚くべきことに、全員一致がない以上は有識者会議としての提言はできないとの立場を明らかにしました。しかし、有識者会議メンバーの現在の意見を前提とする限り、形式的な全員一致が得られないということすなわち、有識者会議からの提言は見送り、または全く新鮮味に欠けるものになることを意味します。

この会議における少数意見というのは、法的拘束力のある措置への一般的な拒否感、他の象牙消費国における先例の軽視、および(近い将来にはおよそ起こり得ない)象牙の国際取引の再開に対する主観的な願望にもとづくものです。しかし、政策決定および具体的な政策提言は、エビデンスと客観的な状況にもとづくものでなければなりません。さらに言えば、象牙取引

規制に関する有識者会議の名称に示されているとおり、法的拘束力のある措置は、有識者会議による提言の当然の選択肢であるはずで

す。形式的な全員一致がない限りは前に進まないとする扱いは、必然的に少数意見を利することとなります。すなわち、知事が有識者会議の設置を通して現状への懸念を提起されたにもかかわらず、東京は現状維持を選ぶというのが事実上の提言となってしまうのです。

そもそも、知事が「今回設置いたします有識者会議でございますが、現在の国内取引規制の検証を行い、また、都がなすべき対策は何なのかなどを検討していただくというものでございます。その結果を踏まえて、対応可能なものから迅速に対策を実施する」と述べられていたとおり（2020年1月10日知事記者会見録）、この有識者会議は、知事から、象牙取引規制に関する具体的提言を行う任務を与えられたはずでした。

会議事務局と有識者会議座長の現在の進行により、必要とされる象牙取引規制に関する具体的提言を報告書から除外されてしまうことは、検討を行う意図および会議設置の趣旨と矛盾し、会議を失敗に終わらせるものです。東京都がどのように前進すべきかに関する提言が出せないのであれば、これまでの象牙取引に関する検討は無駄だったということになります。

つきましては、知事から、会議事務局に対し、象牙取引規制に関する知事への提言とりまとめを追求しこれを報告書に含めるよう指示され、また、有識者会議の座長に対しては、提言を付して審議を終えることへ専心するよう要請されることをお願い申し上げる次第です。

最後に、世界的なアイコンであるゾウの保護を含む環境保護に献身していただいていることに改めて感謝を申し上げます。

敬具

Center for Biological Diversity
David Shepherd Wildlife Foundation
Environmental Investigation Agency
Fondation Franz Weber
Humane Society International
トラ・ゾウ保護基金
野生生物保全論研究会
Pan African Sanctuary Alliance
WildAid

写しの送付先

象牙取引規制に関する有識者会議 座長 阪口 功 殿
東京都政策企画局 政策調整担当部長 後藤和宏 殿